

■彫刻技法による 革の染色 ”花鳥風月のコースターから小銭入れ”制作

武内カズノリ

10センチかける10センチ(1デシ)の牛皮1.5ミリを用いて導入にコースターを作らせてから小銭入れを制作(ここでは小銭入れを解説)9月から12月までの授業でコースターから財布までを製作

ジャポニズムを教えるスプーンを制作した後の展開として色彩を用いたジャポニズムの実践として有効な課題。ジャポニズムの時にテーブル上にふさわしい品格のあるデザインをスプーンに求めたことを思い起こさせる。(注1)家紋等の例を見せながら、日本調の切れ味のあるすっきりと単純化された形を希求する。コースター、財布は同じデザインを可能とする。しかし馬蹄形で、両面2つになり縫い合わせると決して同時に見ることが不可能となる事を理解させる。

1 材料 小銭入れ(クラフト社製)1600円くらい(H25現在)

2 学校で用意するもの(60から80人用)

革染料、ぼろきれ(ウェスを5CM4方にしたもの1000から2000枚)
ウレタンニス 新聞紙(下敷きやマスキング等に使用)、刻印(200番を中心
に抽象的な文様)ゴム板、木槌、スーベルカッター(革用) 転写用
鉄筆 使い捨てビニール手袋、革用接着剤、革レース用3ミリ3連の
フォーク状穴あけ 3ミリ革レース針 トレーシングペーパー

※ 参考図書・日本の文様(1986~89 小学館全18冊古本 ネットで探し図書館に入れさせた。色など申し分なく各巻末に家紋が入っている為生徒に貸し出すのに適当、工芸室蔵書)

3 時間 ■コースター (6時間)

デザイン2時間 デザイン転写と刻印彫り2から3時間、染め1時間

■財布 (8時間から9時間)

デザイン2時間 刻印彫り2から4時間 中身の接着と革レース穴あけ1時間 レース縫い2時間 仕上げは 水性ウレタン透明塗装あるいはミンクオイル仕上げ(導入から計16時間から18時間)

4 注意1テーブルにそぐわない”うんこ型”や著作権のあるキャラクター禁止

◆レベルの低いものほど短時間で「出来た」というためデザインは指導者がOKを出すまで何度でも直させる。

◆財布は 手ずれを起こすため 暗い色調も可とする。

◆白は使わず革のピンクを白く感じるよう指導する、例題”雪だるまは残して白く見せるか青くした場合には周りをさらに暗く落とし黒は極力使わない。”(染料を垂らしたりしたときの最後の為に残す。)また黒は 強い為 他の色との諧調による調和が難しい事を教える。



上野作品は
左が表、右が裏面
(八街高校作品)

下は同じ作者の
コースターと
財布 (千葉西高校)

